

背景

- 不用意に捨てられたプラスチックの一部が海へと入り込むことで、海岸の景観を損なうだけでなく、海の生き物を傷つけたり、海の生き物が間違えて食べてしまうなど、海の環境や生態系に影響を与えることが懸念。

課題

- 海洋プラスチック対策への市民の関心は高く（※）、問題解決に向けた取組が求められている。これまで、市民の意識啓発を中心に取組を進めてきたが、市の啓発による海洋プラスチック対策だけでは限界があり、官民連携により、海洋プラスチックごみを減らせる社会の仕組みをつくる必要がある。<※ 「海洋プラスチック対策に関心がある」人の割合：55.4%（2019年度 第1回市政モニターアンケート結果）>

事業目的

- 市域における使い捨てプラスチックの過剰な利用を抑制し、必要のないプラスチックをできるだけ使用しないプラスチックフリーなライフスタイルへの転換を促す、使い捨てプラスチック削減運動「PLASTIC-Freeチャレンジ」を推進し、SDGs及び大阪ブルーオーシャンビジョンの達成に寄与する。

事業内容

① 海洋プラスチック対策の普及啓発

- ・ 子どもを対象に、海洋プラスチックごみ問題について学ぶイベント等を実施

② リユース食器の導入促進

- ・ 市内のイベントやまつりなどを対象にリユース食器を導入

③ 民間事業者と連携した海洋プラスチック対策の推進

- ・ 民間事業者との協働により、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取組を検討・実施



【関連するSDGsのゴール】

使い捨てプラスチックの削減を図ることで、海洋環境の保全や廃棄物の減量等に加え、食（海洋資源）の安全・安心の確保や代替製品の開発促進など、様々な便益を創出し、SDGsの達成に寄与する。

